

賀 正

「困難に耐え、
困難を乗り越えて」

平成二十一年 元旦

積丹町長 松井 秀紀



そして国・道・市町村や道内外の積丹ファンの方々との信頼関係や交流を大切にしながら、町民の皆さんとともに、将来の積丹町の再生への夢をつなぐ町づくりにも努力を傾けてまいりたいと思います。

新しく迎えた平成21年は、美国川河川改修事業や小泊海岸環境整備事業、美国漁港越波対策事業など、積丹町にとって長年の懸案でありました国・道の公事業がいよいよ本格化することに大きな期待を寄せております。

益子町政が築かれた開かれた行政と弛まぬ行財政改革の推進を糧に、町民と議会と行政が更に知恵を出し合い、長く厳しい町の困難を乗り越え、確かな歩みを続けられますように、町民の皆さんの一層のご協力を心からお願ひ申し上げます。

希望に輝く新春を迎え、町民の皆さんのご多幸とご健勝を心から祈念し、年頭のご挨拶いたします。

今年は「丑年」

丑（うし）とは、干支（十二支）の中で第2番目に数えられます。昔の時刻の名で丑の刻は、午前2時を中心とする約2時間。

「丑」という字は手の指を曲げてものを握る様子を表した象形文字で、本来の読み方は「ちゅう」。中国の歴史書『漢書』律曆誌では、「曲がる」「ねじる」を意味し芽が種子の内部で伸びきらない状態を表しているように「紐」にその意味がうかがえます。この「丑」を「うし」としたのは、庶民に十二支を浸透させるため、動物の名前を当てたものですが、順番や選ばれた理由は定かではありません。

牛といえば昔からのんびりなイメージがありますが、古来から労働力の一つとして利用され、食糧、衣料、肥料と私たちの暮らしの中で欠かすことのできない動物です。この身近な家畜である「牛」に感謝です。

※町内の丑年生まれの方々は、231人で内訳は次のとおりです。

大正2年生	96歳	3人
大正14年生	84歳	47人
昭和12年生	72歳	40人
昭和24年生	60歳	54人
昭和36年生	48歳	28人
昭和48年生	36歳	25人
昭和60年生	24歳	17人
平成9年生	12歳	17人

※平成20年12月22日現在

新年明けましておめでとうございます。

平成21年の新しい年を町民の皆さんとともに元気で迎えられましたことを、大変嬉しく思います。

おかげさまで、私も町政を担当してから6か月が経ちました。町民の皆さんには、「財政再建なくして町の将来なし」という私の願いに、いつも真剣に耳を傾けていただきました。

そして、町の財政がどんなに厳しくても、農業・漁業・商工

観光業の振興に、高齢者の福祉の増進や教育の振興に、また、

新しい町おこしへの挑戦にと、町のどこかで、積丹再生への夢をあきらめず、みんなで力を合わせ頑張っている多くの町民の皆さんの声や姿に身近に接し、

本当に勇気づけられ、力づけられてまいりました。町民の皆さんの、深いご理解と温かいご支援に心から感謝とお礼を申し上げます。

今、世界的な経済・金融危機の嵐が年を越えて深刻さを増す

中で、国内対策にかける国政の動向に目が離せない毎日ではあります。

「自己決定と自己責任」という地方分権時代の地方自治体の不動の理念と使命を今一度認識し、行政と住民との協働の精神と行政施策の選択実施

を基本に、町民の皆さんへの行政サービスの水準維持や防災対策など多くの町政課題の着実な解決に取り組んでいかなければなりません。

また、郷土積丹町が保ち続けた優れた自然や資源を生かし、

迎春

「新しい積丹の
創造に向かって」

平成二十一年 元旦

積丹町議会議長 岩本 幹兒



町民の皆さん、新年おめでと
うございます。

平成二十一年の新春を健やか
にお迎えのことと存じます。

今年が皆さんにとってまた、
積丹町にとってよき年でありま
すことを祈っております。

平素は町民の皆さんの深いご
理解と温かいご支援、ご協力の
もとに議会運営を始め、議員活
動を通じて町政推進に精励でき
ますことに対し心から感謝とお
礼を申し上げます。

新しい年が明けましたが、私

たち小規模町村をめぐる状況は、
相変わらず、厳しいものがござ
いまして、積丹町はレッドカー
ドの財政再生団体入りはまぬが
れ、さらにはイエローカードの
財政早期健全化団体入りもなん
とかまぬがれようとしておりま

すが、少子高齢化、過疎化、産
業の衰退などの流れはとどまる
ことなく、こうした人口減少社
会のもとでいかにして明るい未
来を切り拓く地域づくりをして
いくかが問われており、今後も
国の流れ、動きによってはまっ

たく予断を許さない状況でござ
います。

さらには、下落傾向にありま
すが、昨年原油の値上がり
が、漁業、農業といった積丹町の基
幹産業はもとより、各種産業に
非常に厳しい影響を与え、無差
別殺傷、親殺し、子殺しといっ
た殺伐とした社会状況、地球温
暖化の影響によるものと思われ
る自然災害の増加、金融不安、
不況等々、先行きには非常に不
安なものがある時代ではござい
ますが、江戸時代の俳人、松尾

芭蕉の俳句の中に「よく見れば、
なすな花咲く垣根かな」という
句がございまして、「なすな」
はどこにでもあるペンペン草と
いう雑草で片隅に咲いているお
世辞にもきれいな花ではござい
ませんが、咲くべき時が来れば、
人が見ていようが、いまいが、
厳しい環境のもとでも全力で花
を咲かせている、ペンペン草も
こんなきびしい環境のもとで
も生きているんだなと感動した
芭蕉が詠んだ句だといわれてお
ります。

私たちも少しペンペン草に見
習いましてこの本当につらく、
厳しい時代の垣根を越えてま
いらなければならぬと思うとこ
ろでございます。

それぞれの分野で懸命に生き
ている町民の皆さん、どうか今
年もなによりも健康であります
ように。

そして、積丹町の再生と新し
い積丹の創造に向かって手を携
え、知恵と力を結集し、ともに
がんばってまいります。

今年もよろしくお願いいたし
ます。

《丑(うし)年の出来事》

【昭和36年】

- ・7月集中豪雨災害(美国
川・余別川)
- ・余別橋完成
- ・第2室戸台風(高知県) 死
者202人

【昭和48年】

- ・来岸小学校が閉校
- ・第1回町民体育大会開催
- ・江崎玲於奈氏がノーベル物
理学賞受賞
- ・第1次オイルショック

【昭和60年】

- ・入舸中学校閉校
- ・第1回「おらが名物まんぶ
くまつり」開催

- ・入舸小学校新校舎完成
- ・夕張炭鉱ガス爆発、死者62
人、負傷者24人
- ・初の日本人宇宙飛行士に毛
利衛さん他2名決定

【平成9年】

- ・郵便番号が「7ケタ」に変
更
- ・文化センターで「豊かな海
と森づくりサミット」開催
- ・230人参加
- ・消費税が3%から5%に引
き上げ
- ・北海道拓殖銀行破たん